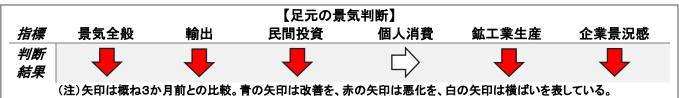
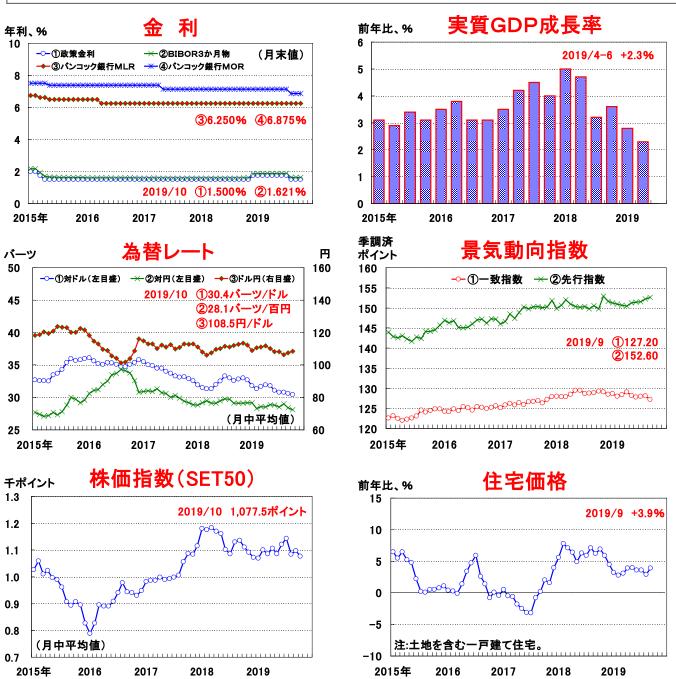
グラフで見るタイ経済 2019 年 11 月号(No. 125)

タイの景気は減速基調にある。まず、9月の鉱工業生産指数は前月比-2.3%(前月は同-0.4%)と大幅に下落した。次に、10月の企業景況感指数は48.1(前月は47.9)と5か月連続で中立水準の50を下回り、企業マインドも弱含みが続いている。外需をみると、9月の輸出は前年比-1.4%(前月は同-4.0%)と2か月連続で減少した。内需に関しても、9月の民間投資指数が前月比+0.5%(前月は同-4.5%)と上昇したものの、依然として低い水準にとどまっている。もっとも、同月の個人消費指数は133.4(前月は133.9)と高止まりしている。

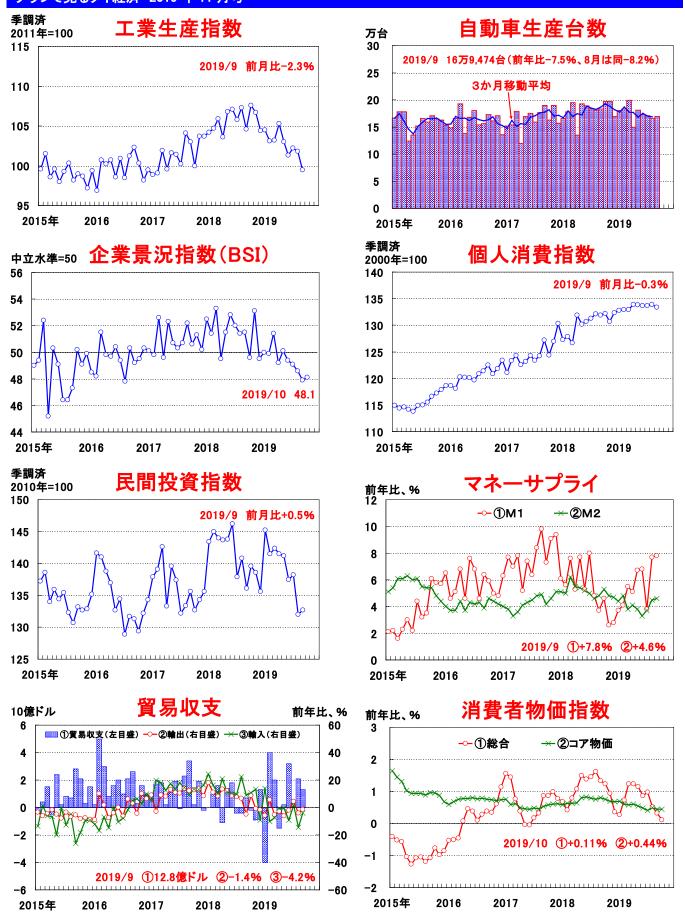




(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーク

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありせん。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える 情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポー トは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

グラフで見るタイ経済 2019 年 11 月号



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。